

平成28年度大磯町教育委員会第9回定例会議事録

1. 日 時 平成28年12月22日（木）
開会時間 午前9時00分
閉会時間 午前9時45分
2. 場 所 大磯町役場4階 第1会議室
3. 出席者 藤 家 崇 教育長
中 野 泉 教育長職務代理者
青 山 啓 子 委員
濱 名 三代子 委員
岩 本 清 嗣 教育部長
小 島 昇 学校教育課長
山 口 友紀子 学校教育課副課長
森 田 敏 幾 参事（地域総合戦略担当）
佐 川 和 裕 生涯学習課長
國 見 徹 生涯学習課郷土資料館長
早 崎 薫 生涯学習課図書館長
秋 本 篤 史 （書記）学校教育課教育総務係長
4. 欠席者 曾 田 成 則 委員
瀬 戸 克 彦 子育て支援課長
5. 傍聴者 2名
6. 教育長報告
7. 報告事項
報告事項第1号 平成28年度大磯町成人式及び新成人記念のつどいの開催について
報告事項第2号 平成28年度文化財消防訓練の実施について
報告事項第3号 第63回おいそ文化祭の実施結果について
報告事項第4号 おはなしボランティア養成講座『絵本の読み聞かせのコツとツボ』
の開催について
報告事項第5号 第15回大磯図書館まつりの実施結果について
報告事項第6号 大磯町郷土資料館運営委員の委嘱について
8. その他

（開 会）

教育長）出席委員が4名で定足数に達しており、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第14条第3項の規定により、定例会は成立します。

なお、本日は傍聴を希望されている方が見えておりますので、大磯町教育委員会会議規則第12条及び第17条の規定により、傍聴を許可します。

暫時休憩ののち傍聴人が入室し再開した。

(平成28年度第8回定例会議事録の承認)

教育長) 「平成28年度第8回定例会議事録」は、1ページから21ページに記載のとおりでよろしいでしょうか。

各委員) 異議なし。

教育長) 異議なしの声がありましたので、「平成28年度第8回定例会議事録」については、ご承認いただいたものとします。

教育長報告

教育長) それでは、11月定例会開催後の平成28年11月17日から本日までの教育委員会諸行事等について報告させていただきます。

11月17日、県市町村教育委員会連合会研修会が、やまと芸術文化ホールにおいて開催されました。本年度は、町教育委員会の学校訪問事業と同日開催となってしまいましたので、事務局より教育部長が参加してまいりました。内容は、学校図書館の果たす役割についてでございました。

11月19日及び20日、大磯小学校体育館で、大磯町子ども作品展を開催しました。幼稚園児から中学生までの子どもたちの作品を多数展示いたしました。延べ約1,200名の来場がありました。また、本年度は、新たに認定こども園「あおぼと」からの出品がございました。

11月27日、第49回神奈川県青少年指導員大会が藤沢市文化会館で行われ、大磯町青少年指導員で「ラフティング日本代表監督」を務められている浅野重人さんが講師として講演をされました。「子どもの未来は大人次第～まずは大人が子どもの『希望』になる事～」というテーマでお話をされ、参加者から好評を得ておられました。

11月29日から12月13日まで、平成28年第4回12月大磯町議会が開催され、教育委員会関係の議案を含め、全議案が可決されました。詳細につきましては、1月定例会にて報告いたします。

12月12日、本年度第2回目の総合教育会議が開催されました。小中学校から教職員8名も出席し、町立学校の現状を確認しながら「信頼関係による学校づくりの実現について」協議を行ないました。委員の皆様には、ご出席をいただきありがとうございました。

12月18日、郷土資料館のリニューアルオープン記念として開催していましたが、企画展「遺跡からみる近代別荘地の形成と展開」が閉会しました。39日間の会期で、7,801名の入館者がありました。詳細については次回1月の定例会において報告をいたします。

その他の諸行事につきましては執行状況表のとおりでございます。

なお、今後の予定につきましては、執行予定表をご参照ください。

また、11月定例会から本日までの間に、教育長に委任された事務で重要なものに関する事、専決した事項に関する事、その他について報告をいたします。12月議会において子ども基金条例が成立いたしました。これを受け、本年度、小学校の教育活動に活用してほしいといただいております。200万円を、小学校寄附金として一般会計に歳入補正し、子ども基金に積み立てました。報告につきましては、以上でございます。

報告事項第1号 平成28年度大磯町成人式及び新成人記念のつどいの開催について

生涯学習課長) 成人式は、新たに成人と迎えた方々を祝い励まし、大人としての自覚をもって心豊かな生き方を目指していただくことを願って毎年開催をしております。本年度の日程は、平成29年1月9日の成人の日に、午後1時30分から3時30分までの予定で開催をいたします。会場は大磯町立国府小学校体育館となっております。内容の構成は、前半の成人式式典を大磯町と大磯町教育委員会の主催で行います。続いて後半は、新成人の組織する実行委員会による新成人記念のつどいが開催されます。

新成人の該当者は、平成8年4月2日から平成9年4月1日までに生まれた方が対象になります。平成28年12月1日現在で、男性が142人、女性が137人、合計で279人となっております。

当日のスケジュールですが、午後0時50分から受付を開始し、午後1時30分から式典を開始いたします。式典は生涯学習課の進行で行ない、関係者からの祝辞・挨拶のみ、15分程を予定しております。引き続き、新成人記念のつどいが、実行委員会の主催・進行で執り行われます。開会の後は、実行委員長による挨拶、恩師の紹介、スライドショー、乾杯、会費制のティーパーティーへと進みます。その後で、写真撮影、実行委員の自己紹介、そして閉会という行程となっております。

また、当日の受付や会場整理については、新成人の実行委員のほかに、大磯町青少年指導員の方々にもお手伝いをしていただきます。この他、来年度以降に成人式を迎える方のボランティアを広報にて募集しております。なお、教育委員の皆様におかれましても、ご都合がございましたらご出席いただき、成人の門出をお祝いいただけたらと思います。

質疑応答)

青山委員) これまで大磯プリンスホテルでやっている様子を見させていただいたのですけれども、この式典そのものではなくて、お着物でいらっしゃる方が多いので、送り迎えの車が非常に多く行ったり来たりしていたと思いますが、今回、小学校ということでその点についての配慮は何かされていますか。

生涯学習課長) 国府小学校の敷地内で若干、車をとめさせていただくことができますので、そこでは来賓の方に対して、そちらの駐車場をご案内する予定です。成人の方の送迎につきましても、かなり多くの車が来ることが考えられますので、東海大大磯病院の駐車場をお借りしております。県道から石神台に向

かう途中の右手に 80 台ほど入る駐車場がございまして、そこを確保することができましたので、職員を配置して、一方通行のルートを設定して、そこで駐車並びに乗り降りもそちらでやっていただくような形で、既に新成人の方に対しては別刷りで案内をしております。

国府小学校の体育館のところにも道がありますが、できるだけそちらには入らないような形で、職員を配置して駐車場のほうに誘導するというような体制を一応考えております。

青山委員) 特にあの周辺は道が狭いですし、事故がないように配慮していただければと思います。

中野委員) 大磯プリンスホテルだと会場を借りるお金がかかったと思うのですが、今回、その費用が無いわけですが、それはどうなりますか。

生涯学習課長) 会場費はございませんが、大磯プリンスホテルで行った場合には、会場の中のいろいろな備品であるとか、あるいはそのままでもう十分対応できるような状況でした。

ところが、体育館になりますと、基本的に、例えば靴を脱いで上がるのか、土足なのかということを考えますと、やはり靴を脱ぐことはなかなか難しいということで、全体の養生であるとか、あるいは机ですとか、テーブルとか、そういったものもレンタルをしなければいけませんので、借り上げ料をそういう会場設営費のほうに回したということで、予算は使用しております。

報告事項第 2 号 平成 28 年度文化財消防訓練の実施について

生涯学習課長) 毎年 1 月 26 日は、「文化財防火デー」と定められ、全国的に文化財防火運動が展開されております。文化財を火災、震災、その他の災害から守るとともに、文化財愛護意識の高揚を図ることを目的としたキャンペーンが各地で行われています。大磯町では、平成 21 年 3 月に旧吉田茂邸が火災で焼失したことから、「文化財防火デー」の一環として、実践的な消防訓練を実施することで、文化財の所有者や関係機関、地域住民の方々に対して、防火・防災意識を高めていただこうと実施してきました。これまでに 7 箇所の寺院や神社等で実施しております。

本年度は、「文化財防火デー」よりも日程的に前倒しとなりますが、平成 29 年 1 月 23 日の月曜日に神明町にあります楊谷寺において実施いたします。例年ですと、土曜日もしくは日曜日に開催することが多いのですが、今回は実施させていただく楊谷寺さんから、近くの大磯幼稚園の園児に訓練の様子を見せたいという要望もあり、平日の月曜日実施となりました。実施は大磯町教育委員会生涯学習課、大磯町消防本部、消防署、消防団本部および分団が主体となり、警察署の協力を得て実施いたします。

訓練の概要は、午前 10 時より 10 時 30 分までの予定で、楊谷寺から出火したと想定いたしまして、119 番通報訓練、初期消火訓練、文化財の持ち出し訓練の順におこないます。通報に基づきまして、指令を受けた消防車両が、サイレンを鳴らして現場に到着し、放水訓練を行う内容となっております。その後、挨拶と講評を行い閉会する行程となっております。特に、当日はサイレンが鳴り、消防車が出動し、消防車の駐車・放水があります。このため、

付近の一部の道路が一時的に車両の通行を制限させていただくこととなります。1月広報をはじめ、区長会等を通して周知をまいります。

質疑応答)

中野委員) 楊谷寺は駅に近いので、駅の近くは閉鎖されますか。

生涯学習課長) 駅のところまでは、特に交通整理はございません。例えば、線路際のところから楊谷寺、神明町に入る細い道の部分を一時的に、閉鎖ではないのですけれども、制限をするということで、通行は可能なのですけれども、消防車両が入りますので、その時点ではちょっと制限をせざるを得ないということで、人員と看板にて周知をする予定です。

濱名委員) 文化財の持ち出し訓練というところで、楊谷寺にはどのような文化財があって、また、本当に物品を持ち出すのでしょうか。

生涯学習課長) 町の指定物件の文化財としては、木造薬師如来立像というものがございまして、これは室町時代の作で、大変貴重な仏像がございまして。それ以外は、特に指定はございませんけれども、比較的たくさんの仏像を所蔵されているお寺でございまして。

実際に、仏像等を外に持ち出すかということになりますと、やはりこれは訓練ではありますが、いろいろと文化財に対して影響が考えられますので、箱みたいなものをつくりまして、それを代用して本堂から外に出すというような模擬訓練をする予定でおります。

濱名委員) 大磯の幼稚園児が見に来るというので、彼らが見るのは放水をするところだけなのか。それとも文化財の説明とか、文化財を見せてもらえる、そういうことがあったら、地域の住民も参加していただければ、いい機会になるかと思うのですが。

生涯学習課長) 今回、幼稚園の園児さんに、時間を設定して見ていただくことになるのですが、基本的には年長さんということで調整をさせていただいております。実際には出火の段階から放水のところまでを見ていただくということで、特に文化財の説明等は今予定はしておりませんが、一連の流れの中で、お寺にはそういう貴重なものがあるということと、それから実際の消防活動を見ていただいて、少しでも参考に役立てていただけるような形ということで、園の活動の中に組み入れていただいているところです。

濱名委員) 訓練する場所の文化財が何なのかというのが、一瞬ですけど興味を持ちましたので、今後もやる場所、やる場所の文化財というのを知ることになればいいかと思っております。

生涯学習課長) 図書館の駐車場のところで多分見ていただくような形になると思いますので、もし可能ならば、そこで例えばここのお寺にはたくさんの貴重なものがあるんだという説明が職員のほうから加えられれば、ちょっと考えてみたいと思います。

中野委員) 放水を始めたときのホースの勢いというのはものすごく、今まではずっと大人の団体だったんですけど、幼稚園児が見にくられるということで、人の張りつけですとか、その辺に十分注意していただければと思います。

生涯学習課長) ご指摘のとおり、十分注意をまいります。

報告事項第3号 第63回おおいそ文化祭の実施結果について

生涯学習課長) 第63回おおいそ文化祭は、10月22日から23日の2日間を中心に町施設で、また、10月22日から11月13日まで各地区会館で開催いたしました。また、本年は新たに民間ギャラリーの参加をいただき、10月15日から30日まで、郷土資料館の企画展も協賛事業として位置づけました。

生涯学習館では、10月22日のオープニングセレモニーのあと、22日と23日の土日2日間、参加16団体による舞台発表、および展示が行われました。また、七五三着装体験、風呂敷包み体験、手工芸品づくりなどの体験コーナーを設け、2日間の来場者は599人を数えました。保健センターでは、同じく10月22日、23日の土日2日間、9団体による展示が行われました。また、手工芸品づくりの体験コーナーを設け、2日間の入場者は504人でした。図書館では、同日2日間、3団体による展示が行われました。体験コーナーでは、和紙による来年の干支づくりが催され、来場者は397人でした。以上の3会場では、恒例のスタンプラリーを開催して町施設2会場以上をご覧いただいた場合に記念品をお渡ししました。その結果、全体で151個を配布しました。

郷土資料館では、11月4日(金)～6日(日)にかけて団体に参加していない個人参加による「おおいそ美術展」を開催し、28作品の出展がありました。来場者は810人でした。嶋立庵では、10月23日の日曜日に大磯町茶道協会による茶席が設けられ87名の参加がありました。国府支所では、同じく10月23日の日曜日に大磯囲碁クラブによる囲碁大会が開催され29名の参加がありました。

また、この他に、民間のギャラリーである「世代工房」も文化祭にあわせて展示をしていただき、50人の来館者が報告されています。高麗の善福寺では、文化財特別公開と銘打って、国指定重要文化財(木造伝了源坐像)と県指定重要文化財(木造阿弥陀如来立像)を一般公開し、40人の参観者がありました。

11月3日に郷土資料館のリニューアルオープンにあわせて、資料館前の城山公園ふれあい広場にて、湘南ハワイアン愛好会のつどいが開かれました。主催団体発表で250人の参加がありました。11月13日には文化祭の開催に協力をいただいている大磯町文化団体連盟による文化講演会が開かれ、40人の参加者がありました。さらに、郷土資料館では、リニューアル記念の企画展「遺跡から見る近代別荘地の形成と展開」を協賛展示として開催し、入館者数は7,801人でした。なお、この他に10月22日から11月8日の期間内に、町内11地区におきまして開催された地区文化祭もそれぞれたいへん盛況でありました。

資料の3頁は、本年第63回おおいそ文化祭の入館者の状況を一覧です。地区文化祭と郷土資料館企画展を除いた入館者数は、下段の昨年第62回に比べて総計で728人の増加となっています。

質疑応答)

濱名委員) 参加者が増えている、習い事をされる方が増えてきていて、その習い事の発表として行われているような感がするのですが、この全体の文化祭の中で、大磯らしいイベント、これが大磯の文化祭の目玉だよというのは、どれに当たりますか。

生涯学習課長) まず、人数が増えたことの要因ですけれども、これは資料館のリニューアル効果がございまして、人数的に増えているのは、特に資料館で行われましたおおいそ美術展で、これがちょうどリニューアルオープンと重なったために、資料館への入場者が非常に多くなりました。それがちょっと影響ありまして、その分がかなり増えているということでございます。ですから、それ以外のところについては、人数的には昨年と大差はございません。

ただ、今回は今までにない、例えば民間のギャラリーですとか、そういうところも文化祭に名を連ねていただいて、場所が生涯学習館は高麗のほうですので、高麗地区を回遊していただくような趣向をしたというところが特徴的です。

特に、例えば内容について大磯に特徴的なところというところ、なかなか難しいところもあるのですが、最近の傾向としましては、ダンスですとか、あるいはハワイアンですとか、そのあたりの団体が非常に今増えておりまして、そういう方々のグループが文化祭に参加したり、今回も11月3日に湘南ハワイアン愛好会の集いということで、そういう団体の方々が集まって、ちょっと大きなフェスティバルにしようというような、そういうことで去年から始まっていますので、そのあたりが最近の傾向といえますか、大磯の特徴なのかなと思います。

中野委員) 町内か町外かの区別はありますか。

生涯学習課長) 来館者については、町内外の区別はとっておりません。一応、参加団体の方々が順番で受付に座りましてカウントしておりますので、かなり人数的には正確な人数がとれておりますが、どちらからいらっしゃったかというところまでの確認は今のところしておりません。

中野委員) 去年かその前に、鎌倉では個人のお宅を開放して、自分のつくった手芸作品とかを展示しているケースがありますというお話をしたんです。世代工房さんなんかを今回会場として開けられているところが、来場者の増員につながったかと思うのですが、そういった形も今後ありかなと思います。そうすると、割と外からのお客さんも来やすい、大磯全体を回っていただけないかというところがあるのではないかと思います。

生涯学習課長) ここ何年か文化祭の集客を図るために、いろいろと検討をしています。いろいろな試みをしているところです。ただ、まず基本的には、町の主催というよりも基本は運営委員会形式で、それぞれの団体さんの代表の方が集まって、自分たちの自主的な活動としてどういうことを目指してどんなことをしていこうかというところで、企画をして運営をしているところですので、その中でどこまで広げるかという議論も当然ございます。

ですから、個人宅、例えば、ほかに大磯芸術祭みたいな形で個人のお宅まで広げるのか、そうではなくて団体活動として発表の場が一番基礎にあるということもありますので、そのあたりの広げ方というのは、今後、多分議

論になっていくかと思えますし、今いただいた意見も運営委員会の中で幾つか提示をしまして、検討していきたいと思えます。

報告事項第4号 おはなしボランティア養成講座『絵本の読み聞かせのコツとツボ』の開催について

図書館長) 報告事項第4号のおはなしボランティア養成講座「絵本の読み聞かせのコツとツボ」の開催についてご説明します。

この講座は図書館ボランティアの支援・養成をするための講座で、毎年開催しておりますが、今回は年齢に応じた絵本の選定、読み方の基礎知識を身につけることを目的としています。

日程としては、2月10日、17日、24日の3回開催で、いずれも、金曜日の午前10時から開催します。

内容としては、第1回目は、絵本を読み聞かせをするときの対象年齢別の絵本の選び方、第2回目は、対象年齢に応じた絵本の読み聞かせの実演、第3回目は、受講者による絵本の読み聞かせの実演と講師による講評を予定しております。

場所は図書館大会議室で行います。講師は、一般財団法人出版文化産業振興財団の読書アドバイザーをされている城所律子さんをお願いしています。

募集人数は20名で1月11日(水)から来館または電話で募集します。周知につきましては、ポスター、チラシ、広報1月号、図書館ホームページにて、周知を行います。

質疑応答)

青山委員) このボランティア講座は、3回終えて、その時点でボランティアとして登録していただくというような手順を踏むのですか。自由だと思えるのですけれども、ボランティアになるかどうか。その辺はどんな手順になっているのでしょうか。

図書館長) この講座を受講して、ボランティアの活動をされるかどうかというのは、特にはそういった設定はしておりませんが、図書館としましては、ボランティアの活動をされる方を増やしていきたいということで、少しでも新しい方がボランティアになっていただけることを期待して、こういった講座を開催しております。

濱名委員) おはなしボランティアというのは、大磯町の中でどういうところで活動されているのですか。

図書館長) ボランティアの活動場所でございますが、図書館のおはなし会を毎週開催しております。そのほかに、小学校、幼稚園、保育園、子育て支援センター、そういったところでおはなし会とか紙芝居をやっております。

報告事項第5号 第15回大磯図書館まつりの実施結果について

図書館長) 報告事項5号「第15回大磯図書館まつり実施の結果について」報告します。

開催の目的は、幼児からお年寄りまで、地域のふれあいの場として、大磯図書館まつりを開催し、図書館の活用を促すようにするものです。

日時は11月13日、日曜日 午前9時から午後2時まで図書館本館で開催しました。

主催は大磯町図書館、共催として図書館ボランティアで構成する大磯図書館まつり実行委員会、協力としてNPO法人「大きなおうち」に協力をいただきました。

参加人数は1,240人で、前年度の1,354人から114人の減とはなりましたが、前年度と同様に大変盛況でした。

古本市は、約6,400冊の寄贈図書と除籍図書を出品して、持ち帰られた冊数は約4,400冊で、69%の持ち帰り率でした。

また、図書館まつりでいただいた協力金は57,642円でした。この協力金により実行委員会が児童書を購入して、図書館に寄贈していただく予定です。

来場者からの感想としては、他の古本市や古書店巡りをしている時に見つからなかった本が見つかったという感想や、図書館がいつもと違って賑やかだったので、子どもの話し声に注意を払うことなく、ゆっくりと見ることができたなどの感想がありました。

また、反省会を12月1日の木曜日の館内整理日に開催して、意見としては、古本市の出品点数を除籍図書2,000冊、寄贈図書4,400冊と事前に状態の悪い本などを厳選して出品した結果、本が選びやすくなり、持ち帰りの冊数がふえたのではないかという意見がありました。

質疑応答)

中野委員) 参加者数なのですが、年齢別の人数というのはわかりますか。

図書館長) 参加者の年齢別ですが、特にそういったカウントはしていませんので、単純にこの行事に参加した人数だけになります。

中野委員) 例えば、児童書コーナーは子どもが大体このぐらい来たというような判断でよろしいですか。

図書館長) この実施概要のところ、子ども向けの行事ですと、表の中のスペシャルおはなし会と折り紙教室、紙袋魚つり、森の手作りひろば、ぬりえ、図書館クイズ、バルーンアート、これが参加人数の大部分がお子さんだということになります。

中野委員) 古本市とかというと、割とお年寄りとか大人が来るイメージがあって、ぜひこういう機会にお子さんが自分で図書館に通ってくるというような機会になったらいいなと思ひまして、質問させていただきました。

報告事項第6号 大磯町郷土資料館運営委員の委嘱について

郷土資料館長) 報告事項第6号、「大磯町郷土資料館運営委員の委嘱について」をご報告させていただきます。資料の裏面に、大磯町郷土資料館運営委員名簿と「大磯町郷土資料館の設置、管理等に関する条例」の抜粋を掲載しております。

大磯町郷土資料館運営委員会は、館の円滑な運営を図るために事業等のご意見をうかがう組織であり、現在5名の運営委員を委嘱しております。運営委員の任期は2年で、平成29年1月7日に現在の任期が満了することに伴い委嘱するもので、平成29年4月から新たな大磯町郷土資料館条例に移行することに伴い、任期は平成29年3月31日までとさせていただきます。委員構成に関しては資料記載のとおりであり、5名の方再任でございます。

質疑応答) なし

(その他)

事務局) 次回の定例会は、1月19日(木)、午前9時から、大磯町役場本庁4階第1会議室で開催予定です。

教育長) それでは、以上をもちまして、平成28年度大磯町教育委員会第9回定例会を閉会いたします。ありがとうございました。お疲れ様でした。

(閉会)

会議の経過を記載し、その相違ないことを証しここに署名する。

平成29年1月19日

教 育 長 _____

教育長職務代理者 _____

委 員 _____

委 員 _____

委 員 _____